

決 算 報 告 書

第 2 期

自 令和 4年11月 1日

至 令和 5年10月31日

一般社団法人オールジャパンベースボールリーグ

愛知県名古屋市名東区朝日が丘1番地1

# 貸借対照表

(単位：円)

一般社団法人オールジャパンベースボールリーグ

令和 5年10月31日現在

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
<b>【流動資産】</b>	<b>【 612,448】</b>	<b>【流動負債】</b>	<b>【 772,599】</b>
現金及び預金	337,781	短期借入金	629,807
未収入金	29,967	未払費用	42,904
前払費用	244,700	前受金	10,000
<b>【固定資産】</b>	<b>【 140,000】</b>	預り金	18,888
(投資その他の資産)	( 140,000)	未払法人税等	71,000
差入保証金	140,000		
		<b>負債の部計</b>	<b>772,599</b>
		純資産の部	
		<b>【株主資本】</b>	<b>【 Δ20,151】</b>
		[利益剰余金]	[ Δ20,151]
		(その他利益剰余金)	( Δ20,151)
		繰越利益剰余金	Δ20,151
		<b>純資産の部計</b>	<b>Δ20,151</b>
<b>資産の部計</b>	<b>752,448</b>	<b>負債・純資産の部計</b>	<b>752,448</b>

# 損益計算書

(単位：円)

自 令和 4年11月 1日

一般社団法人オールジャパンベースボールリーグ

至 令和 5年10月31日

科 目	金 額	
【売上高】		
会 費	12,174,646	12,174,646
【売上原価】		
外 注 費	5,912,740	
合 計	5,912,740	5,912,740
売上総利益		6,261,906
【販売費及び一般管理費】		10,034,139
営業利益		△3,772,233
【営業外収益】		
受取利息	2	
雑収入	2,320	2,322
【営業外費用】		
支払利息・割引料	2,686	2,686
経常利益		△3,772,597
税引前当期純利益		△3,772,597
法人税、住民税及び事		71,600
当期純利益		△3,844,197

# 販売費・一般管理費内訳書

(単位：円)

自 令和 4年11月 1日

一般社団法人オールジャパンベースボールリーグ

至 令和 5年10月31日

科 目	金 額	
旅 費 交 通 費	801,626	
通 信 費	43,574	
接 待 交 際 費	558,193	
賃 借 料	884,400	
消 耗 品 費	60,058	
会 議 費	168,248	
支 払 手 数 料	7,275,755	
広 告 宣 伝 費	77,000	
租 税 公 課	73,520	
雑 費	91,765	
合 計		10,034,139



# 株主資本等変動計算書

一般社団法人オールドジャパンベースボールリーグ

(単位：円)  
自 令和 4年11月 1日  
至 令和 5年10月31日

	株 本		株 主 資 本			株 主 資 本 計 合	評 価 ・ 換 算 差 額 等 合 計	新 株 予 約 権	純 資 産 合 計
	資 本 金	資 本 準 備 金	剰 余 金		其 他 剰 余 金				
			所 得 剰 余 金	其 他 剰 余 金					
当期首残高					3,824,046	3,824,046		3,824,046	
当期変動額									
当期純利益					△3,844,197	△3,844,197		△3,844,197	
当期変動額合計					△3,844,197	△3,844,197		△3,844,197	
当期末残高					△20,151	△20,151		△20,151	

	利 益 剰 余 金 の 内 訳	
	繰 越 利 益 剰 余 金	利 益 剰 余 金 計
当期首残高	3,824,046	3,824,046
当期変動額		
当期純利益	△3,844,197	△3,844,197
当期変動額合計	△3,844,197	△3,844,197
当期末残高	△20,151	△20,151

# 個 別 注 記 表

自 令和 4年11月 1日

一般社団法人オールジャパンベースボールリーグ

至 令和 5年10月31日

この計算書類は、「中小企業の会計に関する基本要領」によって作成しています。

1. 継続企業の前提に関する注記
2. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

計算書類及びその付属明細書の作成基準

一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して作成している。

収益及び費用の計上基準

収益については実現主義により認識し、費用については発生主義により認識している

。

その他計算書類の作成のための基本となる重要な事項

3. 貸借対照表に関する注記